

平成27年度 学校自己評価システムシート (県立鳩山高等学校)

目指す学校像	普通科、情報管理科併置の利点を活かし、生徒一人一人を大切にしている教育を行い、地域とともに歩む元気な学校
--------	--

重点目標	1 キャリア教育の充実と学力の向上 2 基本的生活習慣とマナーの育成 3 活力ある学校行事と部活動の展開 4 地域の様々な機関との積極的な連携強化と地域行事への参加
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校関係者	2名
出席者 生徒	3名
事務局(教職員)	12名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標					年度評価(2月26日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策
1	<p>○基礎学力の定着に向けて取り組んでいるが、学び直しを効果的に展開しながら、引き続き地道に取り組む必要がある。</p> <p>○進路意識・学習意欲が乏しい生徒がいる。引き続き、キャリア教育を計画的かつ組織的に進める必要がある。</p>	<p>○効果的な学び直しに取り組む、生徒の基礎学力を定着させる。</p> <p>○進路意識・学習意欲を高めるキャリア教育を組織的・計画的に実施する。</p>	<p>①授業における効果的な学び直しの取組や学習サポーターの効果的な活用などにより、基礎学力の定着を図る。</p> <p>②授業力の向上を図り、分かる授業を推進する。</p> <p>③各種検定とその補習に取り組ませることによって基礎学力の定着を図る。</p> <p>①キャリア教育を念頭に置いた総合的な学習の時間の年間指導計画を立てる。</p> <p>②進路ノート等を活用して、3年間を見通した進路計画を立案し、実行する。</p>	<p>①達成度確認テストを定期的実施し、前回よりも得点率が向上したか。</p> <p>②授業アンケートで、分かったと答えた生徒数が20%以上増加したか。</p> <p>③検定の合格率が前年度より向上したか。</p> <p>①進路決定が100%を達成したか。</p> <p>②キャリア教育が計画通り実施できたか。</p>	<p>①国語は年25回漢字テストを実施クリアするまで指導。数学は57%から59%増。1学年で60%から68%のクラス有。英語は55%から66%と11ポイント向上した。</p> <p>②分かったと答えた生徒数は昨年度のべ3,322名から今年度のべ4,951名、49%増。(昨年度81.6%今年度85.9%、4.3ポイント増)</p> <p>③合格率前年度43.2%から今年度53.2%と10ポイント向上。</p> <p>①進路決定100%達成。</p> <p>②キャリア教育実施計画を策定し、計画どおり実施。</p>	A	<p>○学び直しの取組が定着し、少しずつ成果をあげている。継続的な取組を行う。</p> <p>○教員の授業力向上のため、教員相互の授業公開などの取組を進める必要がある。</p> <p>○前年度比較の評価指標を見直す。</p> <p>○2年次インターンシップの定着など、引き続き、キャリア教育を計画的かつ組織的に進める。</p>
2	<p>○基本的生活習慣・マナーが身に付いていない生徒、自信を持っていない生徒がいる。本校の強みであるきめ細やかな指導やボランティア活動を通じた心の育成に引き続き力を入れる必要がある。</p>	<p>○きめ細やかな指導を行い、基本的生活習慣・マナーを身に付けさせる。</p> <p>○心の育成のため、県の事業を活用し、ボランティア活動を充実させる。</p>	<p>①朝、駅でのバス乗車指導や遅刻指導を継続的に実施する。</p> <p>②面談機会等の充実を図り、スクールカウンセラーとも連携し、きめ細やかな相談活動を展開する。</p> <p>①日々の教育活動を通じて、挨拶、マナー身だしなみなどの指導を継続的に行う。</p> <p>②県指定事業を活用したボランティア活動をはじめ、多様な体験活動を実施して人間関係の構築・活動意欲を喚起する。</p>	<p>①欠席・遅刻者の割合が前年度より減少したか。</p> <p>②必要に応じてスクールカウンセラーによる相談活動が実施できたか。</p> <p>①学校全体として組織的に統一した指導ができたか。</p> <p>②年間2回、震災復興ボランティアを実施し、80%以上の参加者が成長を実感できたか。</p>	<p>①前年度欠席率5.5%今年度5.5%と横ばい。前年度遅刻率3.1%今年度3.5%と0.4ポイントの微増。</p> <p>②専門のSCが年間22回来校し、2学期末まで生徒のべ23名、教員のべ43名の教育相談を実施した。</p> <p>①整容指導、遅刻指導は、組織的に毎月実施した。今年度も町長より年々良くなっているとの評価をいただいた。</p> <p>②夏の参加生徒の87.1%が成長したと実感している。</p>	B	<p>○基本的生活習慣・マナーを身に付けさせるため、本校の強みであるきめ細やかな指導、ボランティア活動を通じた心の育成に引き続き力を入れる。</p> <p>○生徒に自信を持たせる取組を充実させる。</p>
3	<p>○活力ある学校行事を目指し、生徒会中心に取り組む、少しずつ成果を上げている。更なる継続的な取組が必要である。</p> <p>○部活動に参加する生徒が少ない現状である。施設設備を有効に活用しながら部活動活性化に向けた取組に力を入れる必要がある。</p>	<p>○生徒会中心に生徒の主体的な取り組みによる学校行事を実施し、生徒の意識を高める。</p> <p>○部活動に参加する生徒を増やし、部活動を活性化させる。</p>	<p>①文化祭等の学校行事を生徒主体に実施させ、学校行事に対する生徒の参加意欲を高める。</p> <p>①部活動間の協働体制による取組を工夫し、部活動への参加者を増やし、活性化させる。</p> <p>②学校の施設設備を活用し、部活動活性化の取組を実施する。</p>	<p>①行事に対する生徒アンケートで満足度が80%を超えたか。</p> <p>①部活動への参加者率が昨年度より改善したか。</p> <p>②施設設備を活用した部活動活性化対策を具体化し、実現できたか。</p>	<p>①文化祭アンケートで98.1%の生徒がよかったと回答した。</p> <p>①部員数が昨年度、年度当初から2月まで71.9%、今年度71.7%、ほぼ昨年度同様の結果となった。</p> <p>②昨年度移設・拡充したトレーニング室を活用し、トレーニング講習会を年間10回実施した。</p>	B	<p>○活力ある学校行事を目指した取組は、成果を上げている。生徒会中心に更なる継続的な取組を行う。</p> <p>○部活動の活性化に向けた取組を工夫する必要がある。</p>
4	<p>○地域への情報発信に着実に取り組み、成果を上げつつある。学校が町の財産となるよう、今後更に地域との連携に力を入れる必要がある。</p>	<p>○地域との連携を生かし、生徒募集を向上させる。</p> <p>○本校の教育力を生かし、地域との交流を深めるとともに、地域の教育力も活用する。</p>	<p>①学校説明会、出前授業等を充実させる。</p> <p>②広報誌・学校新聞などをアナログ媒体を用いた情報を地域に配布する。</p> <p>③近隣大学と連携強化し、本校の教育活動の質的幅を広げる。</p> <p>①生徒・教員で地域との交流事業に多く参加し、地域に貢献する。</p> <p>②小中学校や地域に、人的・物的教育力を提供し、交流を深める。</p>	<p>①学校説明会、出前授業など、合計10回以上実施できたか。</p> <p>②広報誌などを年5回以上地域に配布できたか。</p> <p>③地域の大学と高大連携が図られたか。</p> <p>①生徒・職員が5回以上地域の活動に参加できたか。</p> <p>②小中学校や地域に教育力を提供できたか。</p>	<p>①学校説明会・体験入学8回、新規中学校教員対象説明会を2回、出前授業等13回、都合23回実施。</p> <p>②学校新聞を5回発行、自治会を通じて配布した。</p> <p>③東京電機大、山村短大との連携企画で鳩高祭出展を実現した。</p> <p>①町の夏祭り、はとやま祭、ふれあい広場等、9イベントに参加。</p> <p>②小学校2校と連携事業。新規に公開講座5講座を町教委後援で実施。</p>	A	<p>○今年度、地域への情報発信の取組や町との連携が進み、成果を上げている。町の財産としての学校を目指し、今後も更に地域との連携に力を入れていく。</p>

実施日	平成28年2月29日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>○「ステップアップ・プロジェクト」「学び直し」の取組は、今後も力を入れてほしい。</p> <p>○学力の向上、進路決定100%達成と着実に前進している様子がかげえ、学校の努力を実感する。今後の一層の成長が楽しみである。</p> <p>○就職に向けて、社会人として当たり前のことができるなどの、マナーを身に付けておくことに今後も力を入れてほしい。</p> <p>○全体的に数値で表現されていて、それぞれの項目で目標が明確であるため、目指すべきところにつながると思う。</p> <p>○基本的生活習慣は徐々に身に付いてきていると思う。</p> <p>○以前よりも生徒の挨拶に元気が出てきた。立ち止まってる大きな声での挨拶に清々しさを感じる。</p> <p>○校内清掃のより一層の充実をお願いしたい。企業でも整理整頓、清掃は、大変重きを置かれることであり、若い頃から習慣化されると社会に出てからも当たり前のこととして対応していけると思う。</p> <p>○文化祭、体育祭はすばらしかった。</p> <p>○体育祭の入場の時の、クラスみんなで声を出し、一糸乱れぬ集団行動に感動した。</p> <p>○部活動も部員数に変化は見られないが、各部活動の成績を見るととても頑張っていると思う。</p> <p>○部活動の活性化には、入学時に保護者を巻き込みながら、1年次の加入に力を注いでみてはどうか。</p> <p>○地域との連携は、様々な取組がなされ、以前よりも進んでいるように感じる。</p> <p>○地域との連携は、大変よくやっている。今後も磨きをかけてほしい。</p> <p>○学校のすばらしさを、さらにアピールしてほしい。</p> <p>○学校新聞はよいツールだと思う。更に広範囲に配布できるとよいと思う。</p>